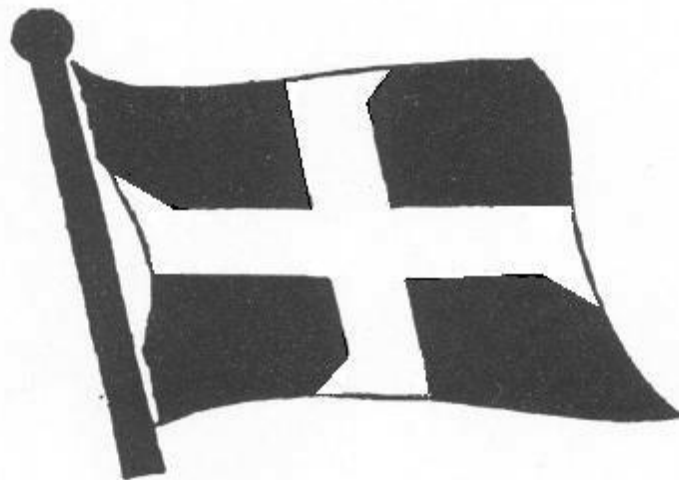


蒼穹 NEWS

No.2

七大戦展望号

令和 3(2021)年 7 月 24 日発行



—目次—

- ①主将挨拶・女子主将挨拶・監督挨拶
- ②七大戦展望
- ③七大戦日程
- ④記録会等の結果

①主将挨拶・女子主将挨拶・監督挨拶

《主将挨拶》

今年の七大戦は 7 月 31 日に、たけびしスタジアム京都及び補助競技場で開催されます。男子は総合優勝、女子は 3 位かつ 16 点という目標を掲げて臨みます。

事前のランキングでは、男子は京都大学と大阪大学が数点差で総合優勝を激しく争うことが予想されます。隙を見せようものなら優勝から遠ざかるだけでなく、下剋上の狙う他の大学に食われてしまうことも十分有り得るでしょう。だからこそ、当たり前ではありますがどれだけ点を取りこぼさずに試合を進めるか、どれだけランキングを覆して得点を伸ばせるかが非常に重要となってきます。接戦が予想される大阪大学を含め、他の大学を圧倒して優勝を掴み取れるよう、気を引き締めて当日を迎える所存です。

主幹校として迎える七大戦は、台風の影響で中止になった 7 年前を踏まえると実に 14 年ぶりとなります。どの大学も熱い想いを胸に七大戦に臨むでしょうが、絶対に目標を達成するという気持ちは他のどの大学よりも強く持っております。

感染症の蔓延により蒼穹会の皆様に会場へ直接お越しいただくことは叶いませんが、男女ともに目標を達成できるよう部員一同全力を尽くして参りますので、熱いご声援をよろしくお願いいたします。

京都大学陸上競技部主将 足立 舜

《女子主将挨拶》

昨年から続くコロナ禍の中、2 年ぶりの七大戦となる今年度大会も開催が危ぶまれましたが、無事に開催される運びとなりました。このような状況下でも、女子 200m での京大新を始め多くの選手が自己記録を更新し、力をつけています。

今年の女子の目標は、「3 位 16 点」です。16 点は 2013 年の 15 点を超える過去 10 年での最高得点になります。現在、京大は得点ランキングで 4 位にとどまるものの、多くの選手が得点のボーダーラインにいるため、選手一人ひとりが実力を発揮できれば達成可能な目標です。今年は阪大と名大が強く、優勝を目標とできないことにもどかしさはあると思いますが、例年苦しい戦いを強いられる七大戦で今年こそは目標を達成し、来年以降に繋げることができればと考えております。

蒼穹会の皆様には、日頃よりご支援を賜りまして誠にありがとうございます。今大会は無観客試合のため、競技場で直接ご声援をいただくことは叶いませんが、是非結果にご注目をいただけると幸いです。

京都大学陸上競技部女子主将 西川真悠

《監督挨拶》

七大戦が7月31日(土)に京都大学主管のもと西京極陸上競技場で行われます。目標は男子の優勝、女子の3位かつ16点です。男子に関しては大阪大学と接戦となることが予想されるものの、ランキング上ではフィールド競技は優位であります。山中(1)、梶(2)、齋藤(2)、黒川(4)といった跳躍選手や眞鍋(3)、山野(4)などの投擲選手中心に試合を組み立て欲しいところです。また、5000m、3000mSCに多種目出場予定の足立(4)には持ち味のタフさを活かし、主将としての意地に期待したいところです。女子は非常に厳しい戦いが予想されます。フィールド4種目に出場予定の小西(3)がどれだけの得点を稼げるかが鍵となり、混成選手としての力が試されるところです。トラック種目では女子主将の西川(4)が中心となって突破口を開けるかどうかで目標達成の可能性は左右されるでしょう。

今回は無観客試合となり、蒼穹会の方々が現地に来られないことを非常に残念に思います。遠い地からでも応援していただけるような体制を整えて参ります。主管校として、そして対校戦として、非常に盛り上がる1日をお届けできるよう努めますので、どうか暖かいご声援をお願い致します。

京都大学陸上競技部監督 長谷川隼

②七大戦展望

第 72 回全国七大学対校陸上競技大会
第 32 回全国七大学対校女子陸上競技大会
令和 3 年 7 月 31 日(土)
たけびしスタジアム京都
京都市西京極総合運動公園補助陸上競技場

～短距離～

男子 100m

中喜多和孝(2) 11.82
山崎 貴仁(2) 11.85
山田慎之助(1) 11.20

男子 100m には中喜多(2)、山崎(2)、山田(1)が出場する。中喜多は春の怪我を乗り越えて着実に力をつけ、大幅な PB を狙えるほどの実力をつけた。今回の七大戦では決勝に進出することは難しいかもしれないが、今後の対校戦で戦えるための足掛かりとして結果を残して欲しい。山崎は春の入部から着々と力をつけ、今回七大戦に出場できることとなった。中喜多と同じくらいの実力であるため、中喜多と同様、自身の最大限の結果を出してもらい、チームの士気をあげて欲しいと思う。山田は 10.78 という自己ベストを持つ元々実力のある選手であり、その調子は日が経つにつれ上がっている一方で、結果が期待できる選手である。なので本番では決勝に進出し、さらに得点を狙って頑張ってもらいたい。

パートとしては最低でも 1 人は決勝に進出し、得点を取ることを目指す。

男子 200m

田中 大智(4) 22.25
中喜多和孝(2) 23.84
山崎 貴仁(2) 24.35

男子 200m には田中(4)、中喜多(2)、山崎(2)が出場する。田中は春先からタイムはあまり出でず、調子もそこまで良いとはいえないが、今回得点ラインが例年よりも低くなるのが予想できるため、SB 以上の力を出せば多くの得点を取ることができる可能性がある。短距離パートの得点源の中心となるよう、4 回生の意地を見せて頑張ってもらいたい。

中喜多、山崎は 100m と兼ねることになるので、体力的にも厳しい戦いになると思われる。中喜多は 200m を専門に考えており、100m よりも大幅なベスト更新が狙えそうであるため、1 人でも多く他大より先着する、という意味をもって望んで欲しい。

山崎は 200m という長い距離に苦手意識があるかもしれないが、この対校戦という場を活かし、チームの力も借りて自分の最大パフォーマンスをすることを意識して欲しい。

パートとしては少しでも多く得点を目指して最低でも 1 人決勝進出、2 点以上を目標にする。

男子 400m

藤田 雄大(4) 49.16
前田 朝陽(4) 50.19
室 和希(3) 50.17

男子 400m には藤田(4)、前田(4)、室(3)の 3 名が出場する。藤田は資格記録 3 位となっており、関西インカレ標準を突破しての優勝へ意気込む。前田は今シーズン自己ベストを 1 秒近く更新しており、大舞台でさらに記録を伸ばし順位を押し上げたい。室は怪我と戦いながらも、春以降は着実に練習を積んでいる。元より実力は申し分なく、力を発揮し勝ちきるレースを体現したい。ランキングを覆し、3 人揃っての得点を目指す。

男子 110mH

酒井 良佑(4) 15.65
永田 智季(4) 15.00
中村 鮎夢(3) 16.03

男子 110mH には酒井(4)、永田(4)、中村(3)が出場する。例年よりかなりレベルが高く、得点ラインが 14 秒台になることも予想される。酒井は 400mH との両刀使いでありハードな戦いが予想されるが、勝負には人一倍熱い。得点を目指して食らいつきたい。永田は最近順調に調子を上げてきている。自己ベストを更新して確実に得点したい。中村は格上との勝負でどこまで力を発揮できるかが重要となる。強気のレースで殻を破りたい。



14 秒台と得点を狙う 永田(4)

男子 400mH

酒井 良佑(4) 54.45
岩崎 光起(2) NR
金盛 圭悟(1) 55.98

男子 400mH には酒井(4)、岩崎(2)、金盛(1)が出場する。得点ラインはやや低いが、調子を上げてきている他大の選手もおそらく確実に勝ち切る粘り強さが必要となってくる。酒井は大事なところで力を発揮できる選手。熱い走り得点を掴み取りたい。岩崎は怪我に苦しみながらも復調の兆しを見せている。得点を見据えた走りをしたい。金盛も怪

我から復帰後のレースとなる。勝負の感覚を思い出して攻めの姿勢で臨みたい。

男子 4×100mR

京都大学 42.00

山田慎之助(1) 田中 大智(4)
村田 憧哉(4) 仲村 快太(4)
中喜多和孝(2) 山崎 貴仁(2)

男子 4×100m には山田(1)、田中(4)、村田(4)、仲村(4)が出場する。

1 走山田は今回の 4 継のためにかなりのカーブ SD の練習を行い、本番への準備は万端であると思う。一回生なので気負わず全力で走りきって田中に繋げて欲しい。2 走田中はエース区間であり周りもかなりの速度帯であることが予想されるが、それに惑わされず 4 回生としての 4 継の経験を信じて自分の走りをして村田に繋げて欲しい。3 走村田は走力はもちろん、4 継の経験もかなりある選手なので、3 走という難しい区間であるが、得意なリラックスした走りをして 4 走に繋げて欲しい。4 走仲村は練習のタイムでも短短パートに引けを取らないほど、走力はかなり付いていると感じる。最後の区間であり責任は感じると思うが、固くならずにしっかりと他大学に競り勝って欲しい。

パートとしては 5 点、表彰台を目標とする。

男子 4×400mR

京都大学 3:15.64

藤田 雄大(4) 前田 朝陽(4)
室 和希(3) 木之下隆弘(2)
嵯峨 宙飛(2) 宮園 隼人(2)

男子 4×400mR は前田(4)-藤田(4)-中尾(4)-室(3)の 4 人でバトンを繋ぐ予定である。4 人とも個人種目にも出場するため、状況によっては

嵯峨(2)などが出場する可能性もある。東北大が選手層の厚さからやや優勢ではあるが、阪大、名大、東大とともに5大学で実力が拮抗している。いずれのチームも疲労との戦いが考えられる中で1位を勝ち取り、チームの総合優勝を確かなものにしたい。

女子100m

奥村 夏子(4) 13.85

三好 紗椰(2) 12.96

女子100mには奥村(4)と三好(2)が出場する。奥村は春先の怪我から見事に復活し、最近では徐々に調子を上げてきている。4回生であり最後の七大戦ということで本人も気合が入っているため、しっかりと本人の目標である決勝進出を目指して頑張りたい。三好は本人的には納得のいく練習をできておらずしっかり積んでいたわけではないが、200mでは京大新記録を出すなど、状態は悪くない。なのでまずは決勝を決め、混戦が予想されるが得点をしっかり取ってきてチームに流れを作りたい。パートとしては2名決勝進出を目指し、得点することを目標にする。



得点を掴み取りたい 三好(2)

女子400m

西川 真悠(4) 1:01.22

女子400mには西川(4)が出場する。今大会の女子400mは大学入学後試合に出ていない有力選手が多く、展開を予想することが非常に困難である。西川は800mを専門としながら4×100mRの練習をする中でスピードもつけてきており、PBを出しての得点を目指す。女子主将自ら複数種目で得点でチームを牽引したい。

女子100mH

新保 歩(1) 15.91

女子100mHには新保(1)が出場する。新保は混成パートから出場を決めてくれた。資格記録では3位となっており、どこまで食らいつけるかが重要となる。1回生ながら多種目出場となるが、格上にも負けない気持ちの強さを持って勝負を楽しんでほしい。

女子4×100mR

51.22

奥村 夏子(4) 三好 紗椰(2)

小西 菜月(3) 森尾 美月(2)

新保 歩(1) 西川 真悠(4)

女子4×100mには奥村(4)、三好(2)、小西(3)、森尾(2)が出場する。

1走の奥村はその経験値から一走の安定感は抜群であり、加速力も短パートの中でもかなり高い方であるので、気負わず自信を持って走って三好に繋げて欲しい。2走の三好は周りと同じく競り合っても自分の力を出せる選手であると思うので、周りの速い選手に対しても引けの取らない走りをして小西に繋げて欲しい。3走小西は先日7種競技でベストを出し、スプリントの調子も良く思われる。200mの出場回数も多くカーブには耐性があると思うので、自信を持ってコーナーを走り森尾に繋

げて欲しい。4 走森尾は春の入部から練習を始めたこともあり、体の不安も感じているようであるが、走力は着々と上がっており、本人の意気込みも十分である。4 継の最後の区間を走る選手として悔いのない走りをして欲しい。

パートとしては3位を目標とする。

～中距離～

男子 800m

川井 景太(4) 1:56.37

中尾 友哉(4) 1:55.37

山口 佐助(3) 2:01.07

男子 800m の得点ラインは中尾(京大)の1'55"37。一方、ランキング1位は参加可能性の低い高橋(東大)、2,3位は1年生とランキング外の選手にも十二分にチャンスはある種目になっている。中尾(4)はランキング上では6位だが、今季は好調をキープしており、貪欲に優勝を狙う。川井(4)は資格記録では8位、昨シーズンから調子を落としており最高の状態とは言えない。しかし、6月のT.Tでは1'57をマークするなど七大戦に向け調子を整えており、4回生の意地をみせ得点に食い込んで欲しい。山口(3)は直近の記録会で大学ベストを更新するなど、調子は確実に向上している。積極的なレースで周囲を脅かす。

男子 1500m

乙守倫太郎(4) 4:12.82

川口 修大(3) 4:11.94

西川 洸平(1) 4:00.61

男子 1500m の得点ラインは4'00付近であり、京大の3選手には厳しい戦いとなる。乙守(4)、川口(3)は共に資格記録上は4分12秒前後であるが、

練習の水準から言えばより好記録を狙える。特に乙守は試合で本来の実力を発揮できないことも多いため、この七大戦ではその悪評を払拭してほしい。西川(1)はブランクがあり安定感はないものの、高校時の記録は4分00秒とポテンシャルは十分である。練習からものその可能性は感じるため、積極的なレースを展開したい。

女子 800m

西川 真悠(4) 2:19.48

日野谷レナ(2) 2:38.22

女子 800m には西川(4)、日野谷(2)が出場する。西川は資格記録上では2'19"48で3位だが、SBは2'23"08(7/18、京都選手権)であり、チャレンジャーの立場である。得点を狙うには2分20秒前後の記録が必要となるが、女子主将の意地をみせ得点を掴んでほしい。日野谷は大学入学以降順調に記録を伸ばし、特に今春以降の成長は著しい。得点ラインからは遠いが更なる記録向上を目指す。



400mと800mでの得点を目指す 西川(4)

～長距離～

男子 5000m

足立 舜(4) 14:37.68

清水 厚佑(4) 14:31.57

鈴木洋太郎(4) 14:38.66

男子 5000m には、足立(4)・清水(4)・鈴木(4)が
出場する。ランキングは順に 4 位・3 位・5 位とな
っている。今年は午前中に行われることも踏まえ、
3 人とも確実に入賞し、チームの優勝に向けて、京
大に大きな勢いをもたらすことが求められるだろう。
足立は多種目出場になり、また清水も怪我の影響
で万全とはいえないが、コンディションにはなるが、
3 人でレースを支配し、他の 6 大学に対し圧倒的
な力の差を見せつけたい。

男子 3000mSC

足立 舜(4) 9:08.27

吉村 柊太(4) 9:29.22

市原 詩音(2) 9:37.48

男子 3000m 障害には、足立(4)・吉村(4)・市
原(2)が
出場する。ランキングは順に 1 位・4 位・6
位となっており、こちらも 5000m 同様大量得点が
期待される。足立は複数種目の出場となるが、優
勝は間違いないだろう。主将らしい圧巻の走りを
期待している。吉村・市原に関しては、伊勢予選で
は厳しい走りになってしまったが、しっかり課題を
もって練習に取り組んできた。35 台目の大障害ま
で一瞬たりとも気を抜くこと無く、積極的なレース
をみせてほしい。



1 点でも多く得点したい 吉村(4)・市原(2)

女子 3000m

藤本 涼(4) 10:48.07

藤本 のどか(3) 11:01.60

女子 3000m には前回大会と同じく藤本(4)、
藤本(3)が
出場する。ランキング上では 10 分 40
秒が得点ラインだが、真夏の京都でのレースであ
るため何が起こるかはわからない。藤本(4)は今
年は 1500m を軸に取り組んできたが、着実に実
力をつけ P B を更新している。得点争いに食い込
むチャンスは十分にあるので、積極的なレースをし
勝ちを収めたい。藤本(3)は怪我に悩まされなが
らも、できる範囲での練習に着実に取り組んできた。
万全の状態とは言えないが、熱い走りで他大を脅
かしたい。

～競歩～

男子5000mW

平岡 拓 (4) 22:47.65

池田 尚平 (3) 22:36.93

尾原 翔 (2) NR

5000mW には、4 回生の平岡、3 回生の池田、
2 回生の尾原が
出場する。平岡、池田は資格記録
で 3 位、5 位に位置し、2 名とも得点圏内である
が、2 位から 10 位までの選手の PB 及び直近の
試合の結果を考慮すると実力はほぼ互角と考えら
れるため、油断はできない。冷静に状況を判断し、
後半粘って競り勝ちたい。尾原は 2 年ぶりの
5000mW である。体力は十分にあり、比較的正し
い動きもできているので、得点に近い順位を狙う
ことができそうである。自信をもって歩いてほしい。
七大戦最初の種目であるので、チームに勢いがつ
けられるようなレースを目指す。

～跳躍～

男子走高跳

井上 裕介 (3) NR
鴛原 泰輝 (2) 1m94
山中 駿 (1) 2m12

男子走高跳には井上(3)、鴛原(2)、山中(1)が出場する。井上は資格記録を持たないが、走高跳経験者ということもあり練習でも好記録を狙える動きを見せていて、十分得点を狙える。鴛原は今シーズン春先からなかなか突き抜けた記録を出せずにいるが、冬季から充実した練習を積んできており、7月に入ってから確実に調子を上げてきている。ここでPBを更新し、大きく飛躍してほしい。山中は資格記録が同記録である大平(名大)と優勝を争うことになるが、入部してからすでに関西CS2位、U20日本選手権6位など実績を残しており、今大会でも勝負強さを見せつけての優勝が期待される。

男子棒高跳

黒川 泰暉 (4) 4m40
今西 直 (3) 3m60
深井 颯一郎 (1) NR

男子棒高跳には黒川(4)、今西(3)、深井(1)が出場する。黒川は冬季終盤に腰痛を発症し今季あまり試合に出てはいないが、七大戦に向けて地道な基礎トレーニングを積み重ね、PBを十分狙える状況にある。久しぶりの試合を楽しみ尽くし、優勝してきてほしい。今西は七大戦で得点ラインと予想されている4mを跳ぶために、使用するポールを変えたりするなど積極的に取り組んできている。持ち前のスピードを活かしてうまくポールを扱うことができれば十分得点を期待できる選手だ。深井は

大学入学後に棒高跳を始めた選手であるが成長著しく、既に3m付近を狙えるほどになっている。得点ラインからは少し離れているが、これからの活躍を予感させる跳躍を見せてくれるだろう。

男子走幅跳

仲村 快太 (4) 6m93
村田 憧哉 (4) 7m01
齋藤 啓 (2) 7m11

男子走幅跳には仲村(4)、村田(4)、齋藤(2)が出場する。上位選手の資格記録やSBが6m90付近で密集しておりミスの許されない戦いとなっているが、3人とも3本目までに7m以上を跳び事前ランキング(13点)程度の勝負は決めてしまい、更なる積み重ねをしたい。この種目で何点取り切れるかが京大の優勝に大きく影響してくるであろう。仲村は関西CSを回避するなど時間をかけて七大戦に合わせた。絶対にPBが出せるとのことなので期待ができる。村田は京カレ以降調子を落としていたが復調してきており、こちらも十分PBが出せる状態にある。齋藤は課題であったスピードを春先よりも更に克服してきており、UB更新は確実、PBを狙っている。

男子三段跳

岩井 響平 (4) 14m21
梶 慎介 (2) 15m27
齋藤 啓 (2) 14m55

男子三段跳には岩井(4)、梶(2)、齋藤(2)が出場する。得点ラインは14m付近と予想されているが、3人ともその程度なら練習で跳べてしまうほど圧倒的な実力をつけてきている。格の違いを見せつけ、他大を置き去りにして京大の独壇場にしてしまいたい。岩井は技術体力ともに春先から更にレ

ベルアップしており、2年前の七大戦のように大きくベストを更新することが期待される。梶は地力が頭一つ抜けていて優勝は確実であり、全カレ標準の突破にも期待がかかる。齋藤は技術改良が上手くっており、15mを視野に入れている。走幅跳と合わせてポイントゲッターとしての期待がかかる。



記録にも期待がかかるランキング1位の梶(2)

女子走高跳

小西 菜月 (3) 1m60

新保 歩 (1) 1m40

女子走高跳には小西(3)、新保(1)が出場する。中村(名大)がエントリー後1m71を跳び持ち記録としては頭一つ抜け出したが、小西もフィールドのスペシャリストとして2位以上は確保、調子次第では中村も下す勢いで戦ってきてほしい。新保は走高跳をさほど得意としていないが、出場人数が少ないのでPBで記録を残せば展開次第では1点を獲得できる可能性がある。大学デビュー戦となるが、落ち着いて試合を進めてほしい。

女子走幅跳

小西 菜月 (3) 4m91

新保 歩 (1) 4m68

女子走幅跳には小西(3)、新保(1)が出場する。ランキングではそれぞれ5位、8位となっている。小西は冬季を経てスプリント力が向上したものの、助走との噛み合いがうまくいっていない。昨年の京阪神新人戦以降PBを出せてはいないが、ここが噛み合えば十分記録を出せるはずだ。新保は1回生ながら既に練習で4m50付近は跳べている。大学初戦から複数種目出場と難しい戦いにはなるが、来年以降も戦うためにここでPB付近は出しておきたい。

～投擲～

男子砲丸投

鄭 晟皓(4) 8m89

眞鍋 聡志(3) 12m63

砲丸投には鄭(4)、眞鍋(3)が出場する。鄭は現在ランキング9位で、得点ラインまでは約1.5mである。少し離れているにも思われるが、京都選手権では捻挫をしながらもPBを出しており、十分に得点を狙えるだけの力は持っている。今シーズンは試合に出場していない選手も多く、展開は読めないがチャンスがあればものにしてほしい。眞鍋は現在ランキング3位だが、上位三人の資格記録にはほとんど差がない。13m前後になることが予想される優勝争いを制してきてほしい。また、京大記録の更新にも期待がかかる。



接戦をものにできるか 眞鍋(3)

男子円盤投

鄭 晟皓(4) 28m67
眞鍋 聡志(3) 37m71
安藤 正貴(1) NR

円盤投には鄭(4)、眞鍋(3)、安藤(1)が出場する。鄭はランキングでは8位につけている。多種目出場にはなるが実力を発揮し、確実に入賞したい。眞鍋はランキングトップに立っている。円盤投は6位が35m前後の記録を持っており、ハイレベルな試合になるだろう。三種目こなすことによる疲労もあるかもしれないが接戦を制し、優勝してきてほしい。安藤は大学初の円盤投の試合であり、実力は未知数だが練習の成果を発揮できれば入賞には十分手が届くと思われる。

男子ハンマー投

眞鍋 聡志(3) 26m28
安藤 正貴(1) NR
岡本 亜哲(1) NR

ハンマー投には眞鍋(3)、安藤(1)、岡本(1)が出場する。眞鍋は現在ランキング7位だが、5位までは十分に狙える能力がある。男子投擲としては最初の種目ということで京大に流れをもたらす一投を期待したい。安藤、岡本は一回生ながらハンマー投げにエントリーしてくれた。本大会での得点は厳しいが、今後の対校戦のために経験を積んできてほしい。

男子やり投

山野 陽集(4) 60m68
今西 直(3) 47m47

岡本 亜哲(1) NR

やり投には山野(4)、今西(3)、岡本(1)の3名が出場する。山野は現在ランキングでは2位である。現在は調子が上がってきていないが、本番では最低でも得点は確保したい。今西は現在ランキング8位につけており、PBをだせば他の選手の記録によっては得点も十分あり得る。50mを超える投擲に期待。岡本は初めてのやり投の試合であり、現状得点は厳しいと思われる。対校戦の雰囲気を感じ取りつつのびのびと競技してきてほしい。

女子砲丸投

小西 菜月(3) 9m13

砲丸投には小西(3)が出場する。ランキング2位で、上とも下ともかなりの差がある。多種目出場の疲労もあるかもしれないが、少ない本数で確実に2位を確保してほしい。

女子やり投

小西 菜月(3) 32m89
篠田 佳奈(1) 40m41

やり投には小西(3)、篠田(1)が出場する。小西は現在ランキング2位だ。京都選手権ではPBを更新するなど調子はよさそうである。篠田と二人で得点を独占してほしい。篠田はランキング1位で、優勝は間違いないと思われる。大学初めての試合でPBを出すなど間違いなく実力はある。関西インカレA標準の43mは十分に狙えるだろう。

③七大戦日程

第 72 回全国七大学対校陸上競技大会
第 32 回全国七大学対校女子陸上競技大会

令和3年7月31日(土)

たけびしスタジアム京都

京都市西京極総合運動公園補助陸上競技場

本年度はオープンの部は実施せず、対校の部のみの実施となります。

トラック					
時間	種目		ラウンド	組数	出場選手 ()内は補欠選手
9:30	男女	5000mW	決勝		平岡 4/池田 3/尾原 2/(高橋 3)
10:10	男子	5000m	決勝		足立 4/清水 4/鈴木 4/(江端 2)
10:35	男子	400mH	予選	3 組 2 着+2	酒井 4/岩崎2/金盛1/(田中 3)
10:50	女子	100m	予選	2 組 3 着+2	奥村4/三好2
11:00	男子			3 組 2 着+2	中喜多2/山崎2/山田 1/(高橋 3)
11:10	女子	3000m	決勝		藤本 4/藤本 3/(周藤1)
11:30	男子	1500m	決勝		乙守 4/川口 3/西川 1/(足立 4)
11:55	男子	400m	予選	3 組 2 着+2	藤田4/前田 4/室3/(嵯峨2)
12:10	男子	100m	決勝		
12:25	男子	400mH	決勝		
12:35	男子	800m	予選	3 組 2 着+2	川井 4/中尾 4/山口3/(山田 3)
12:50	女子	100m	決勝		
昼休憩					
13:30	男子	200m	予選	3 組 2 着+2	田中 4/中喜多 2/山崎 2/(高橋惇 3)
13:45	男子	110mH	予選	3 組 2 着+2	酒井 4/永田4/中村3/(鄭4)
14:00	女子	400m	決勝		西川 4
14:10	男子				
14:25	男子	3000mSC	決勝		足立 4/吉村 4/市原 2/(斎藤1)
14:45	男子	4×100mR	決勝		田中 4/仲村 4/村田 4/中喜多 2/山崎 2/山田 1
15:00	女子	100mH	決勝		新保1
15:15	男子	110mH	決勝		
15:25	女子	800m	決勝		西川4/日野谷2/(高木 4)

15:35	男子				
15:45	男子	200m	決勝		
16:00	女子	4×100mR	決勝		奥村 4/西川 4/小西3/三好2/森尾2 /新保 1
16:10	男子	4×400mR	決勝		藤田 4/前田 4/室3/木之下2/嵯峨2 /宮園 2
跳躍					
9:30	男子	走高跳	決勝		井上 3/鴛原2/山中1/(齋藤 2)
9:30	男子	走幅跳			中村 4/村田 4/齋藤 2/(坂本3)
11:30	女子	走幅跳			小西3/新保 1
11:30	男子	棒高跳			黒川 4/今西3/深井1
13:30	男子	三段跳			岩井 4/梶 2/齋藤 2/(井上 3)
14:00	女子	走高跳			小西 3/新保1
投擲					
10:00	女子	やり投	決勝		小西 3/篠田 1
10:30	男子	ハンマー投			眞鍋3/安藤 1/岡本1
12:00	男子	砲丸投			鄭4/眞鍋 3
12:00	女子	砲丸投			小西 3
13:00	男子	円盤投			鄭4/眞鍋3/安藤 1/(今西 3)
14:30	男子	やり投			山野4/今西 3/岡本 1

④記録会等の結果

《第 37 回 U20 日本陸上競技選手権大会》

令和 3 年 6 月 24 日～27 日

ヤンマースタジアム長居

▼男子走高跳				
山中 駿		2m05	6 位	

《第 67 回岡山県陸上競技選手権大会》

令和 3 年 6 月 25～27 日

岡山県陸上競技場

▼男子走幅跳				
齋藤 啓		6m75	+1.5	

▼男子三段跳				
齋藤 啓		14m46	-0.7	

《第 74 回神奈川陸上競技選手権大会兼第 91 回関東陸上競技選手権大会県予選会兼第 76 回神奈川陸上競技選手権大会》

令和 3 年 6 月 26～27 日

三ツ沢公園

▼男子やり投				
澤田 剛		64m57	優勝	

			自己新 京大新
--	--	--	------------

《第 75 回広島県陸上競技選手権大会》

令和 3 年 6 月 26, 27 日

エディオンスタジアム広島

▼男子 5000mW			
平岡 拓		DQ	

《第 76 回茨城県陸上競技選手権大会》

令和 3 年 7 月 2～4 日

笠松運動公園

▼男子 800m			
木村 佑	予選	1:55.66	
島村 夏惟		2:01.56	
須山 傑		2:04.41	大学初
木村 佑	決勝	1:55.04	3 位
▼男子 1500m			
木村 佑	決勝	4:01.95	2 位

《第 75 回宮崎県陸上競技選手権大会》

令和 3 年 7 月 3, 4 日

ひなた宮崎県総合運動公園

▼男子 800m			
乙守倫太郎	予選	2:00.99	
乙守倫太郎	決勝	2:00.00	4 位 大学新
▼男子 1500m			
乙守倫太郎	決勝	4:14.17	

《2021 第 1 回長距離強化記録会》

令和 3 年 7 月 10 日

橿原

▼男子 800m			
川井 景太		1:58.38	
山口 佐助		2:01.07	大学新

山田 大智		2:02.01	大学新
小崎 舜真		2:12.59	自己新

▼男子 1500m

清原 陸		3:48.94	自己新
川口 修大		4:11.94	自己新
乙守倫太郎		4:14.56	
鶴見 薫樹		4:24.92	

▼男子 5000m

相澤 航		15:29.71	
原 圭佑		16:37.21	大学新

▼女子 800m

西川 真悠		2:24.91	
日野谷レナ		2:38.22	自己新
高木穂乃香		2:40.39	自己新

▼女子 1500m

藤本 涼		5:03.03	
藤本のどか		5:12.44	

▼女子 3000m

周藤 紗季		12:57.38	自身初
-------	--	----------	-----

《和歌山県陸上競技選手権大会兼第 89 回近畿陸上競技選手権大会県予選会》

令和 3 年 7 月 10, 11 日

紀三井寺公園

▼男子 400m			
小原 幹太	予選	50.70	
小原 幹太	決勝	49.39	2 位

《第 80 回滋賀県陸上競技選手権大会》

令和 3 年 7 月 10, 11 日

皇子山

▼男子 400m			
宮園 隼人	予選	54.22	
▼男子 3000mSC			
足立 舜	決勝	9:27.48	優勝

《第 89 回兵庫陸上競技選手権大会》

令和 3 年 7 月 10, 11 日

ユニバー

▼男子 800m				
中尾 友哉	予選	1:55.78		
▼女子 200m				
三好 紗椰	予選	26.48	-0.4	大学新 京大新

《第 76 回国民体育大会石川県予選会》

令和 3 年 7 月 17, 18 日

西部緑地公園

▼男子 100m				
加藤 寿昂	予選	10.72	+2.8	

《第 89 回大阪陸上競技選手権大会兼第 76 回国
体陸上競技大阪府代表選手選考競技会》

令和 3 年 7 月 16, 17, 18 日

ヤンマーフィールド長居、ヤンマースタジアム長居

▼男子 110mH				
永田 智季	予選	15.19	-3.3	
▼男子走高跳				
山中 駿	決勝	2m03		4 位
▼女子やり投				
中野 水貴	決勝	41m17		6 位

《香川陸協記録会》

令和 7 月 17, 18 日

屋島レクザムフィールド

▼男子 800m				
山口 佐助		2:00.29		大学新
▼男子 1500m				
岡 樹生		4:28.93		大学初

《第 81 回愛知陸上競技選手権大会》

令和 3 年 7 月 17, 18 日)

瑞穂

▼男子 400m				
伊藤 智也	予選	49.57		自己新
▼男子 110mH				

酒井 良佑	予選	15.75	-1.1	
	二次 予選	16.15	-2.2	
▼男子 400mH				
酒井 良佑	予選	54.99		
▼女子 1500m				
中野 紗希	予選	4:51.53		

《第 76 回京都陸上競技選手権大会》

令和 3 年 7 月 17, 18 日)

たけびしスタジアム京都

▼男子 400m			
小谷 哲	予選	47.76	
藤田 雄大		49.39	
前田 朝陽		49.88	自己新
水野 廉也		51.33	
▼男子 800m			
土屋維智彦	予選	1:54.99	
▼男子 1500m			
清原 陸	夕決	3:47.98	2 位 自己新 京大新
木村 佑		4:09.68	
西川 洸平		4:18.73	大学初
▼男子 400mH			
平野 亘	予選	55.99	
▼男子 3000mSC			
吉村 柊太	決勝	9:30.76	5 位
▼男子 4×400mR			
前田 朝陽 中尾 友哉 嵯峨 宙飛 木之下隆弘	予選	3:21.65	
嵯峨 宙飛 中尾 友哉 木之下隆弘 宮園 隼人	決勝	3:25.95	7 位
▼男子三段跳			

三神 淳志	決勝	14m61	+2.7	
柳原 拓海		13m46	-1.3	
▼男子やり投				
澤田 剛	決勝	62m41		7 位
▼男子十種競技				
五十嵐隆皓		5458 点		
100m		11.75	+1.6	
走幅跳		5m66	-1.4	
砲丸投		8m64		自己新
走高跳		1m70		
400m		52.52		
110mH		16.51	+1.7	
円盤投		24m01		
棒高跳		3m60		
やり投		36m37		
1500m		4:41.58		
今西 直		5100 点		自己新
100m		11.35	+1.6	自己新
走幅跳		5m66	-0.8	
砲丸投		9m43		自己新
走高跳		1m55		自己新 タイ
400m		53.15		自己新
110mH		18.67	+2.1	
円盤投		24m96		自己新
棒高跳		3m40		
やり投		44m24		
1500m		5:17.95		
鄭 晟皓		DNF		
100m		DNF		
走幅跳		NM		
砲丸投		9m67		
		(以降棄権)		
▼女子 100m				
三好 紗椰	予選	12.92	+2.1	
▼女子 400m				

後藤 加奈	予選	1:00.80	
▼女子 800m			
西川 真悠	予選	2:23.08	
▼女子 400mH			
藤林 悠希	予選	1:06.05	
▼女子 4×100mR			
奥村 夏子 三好 紗椰 新保 歩 西川 真悠	予選	51.68	
▼女子円盤投			
中芝 美玖	決勝	37m59	3 位
▼女子やり投			
篠田 佳奈	決勝	41m77	2 位 大学初 自己新
▼女子七種競技			
小西 菜月		4101 点	自己新
100mH		15.58	+3.4
走高跳		1m55	
砲丸投		9m07	大学新
200m		28.73	-0.4
走幅跳		4m76	+1.0
やり投		33m75	自己新
800m		2:40.28	大学新



蒼穹ニュース 令和3年度 第2号
令和3年7月24日発行

発行所: 京都大学体育会陸上競技部
編集者: 尾原翔・島村夏惟・藤浦敦士(副務)
特別協力: 山口佳那子・高重広・平林里和子(学連員)
写真担当: 角谷幸紀・中喜多和孝

陸上競技部 HP <http://www.athletics.kusu.kyoto-u.ac.jp/>
陸上競技部記録 HP <http://www.athletics.kusu.kyoto-u.ac.jp/kiroku.htm>
関西学連 HP <http://gold.jaic.org/jaic/icaak/index.htm>
メールアドレス shimamura.kai.54z@st.kyoto-u.ac.jp(島村)